

BN eNews

2010.Aut

【特集】

- 1. 大学創立60周年 ……………3-4
- 2. 別府大学の挑戦 地域連携(1) ……………5-6

contents

- 新学長就任
 - 豊田寛三 別府大学学長 ……………1
 - 金子進之助 別府大学短期大学部学長 ……………2
- 教育CloseUp ……………7-8
- 研究者インタビュー
 - 上野淳也・平川史子 ……………9-10
- 国際交流 ……………11
- 学園News ……………12-14
- 新任者紹介 ……………15
- 学校法人別府大学の事業報告(抄) ……………16-18



〔静物〕青木智華子 油彩 130×194

新学長就任



別府大学 学長

豊田 寛三

1944年 香川県生まれ
1969年 広島大学助手
1974年 大分大学講師
1988年 大分大学教授
1995年 大分大学附属中学校校長
1998年 大分大学教育学部長
1999年 大分大学教育福祉科学部長
2002年 大分大学学長特別補佐
2003年 大分大学副学長
2005年 大分大学教授
2010年 大分大学退職
2010年 別府大学学長

新しい友へ

本年4月から別府大学長を務めております。どうぞよろしく申し上げます。略歴にありますように、大分では36年余暮らしています。これまでも専門的な研究や学会の運営などで本学の先生方とは、親しくお付き合いしてきました。今度は、別府大学のメンバーに加えていただきました。

学長として、めざす大学像は「平成の咸宜園」です。咸宜園には、100年弱の間に全国各地から5,000名弱の若者が集い、学びました。この塾は、豊後国（大分県）日田郡豆田町の豪商の家に生まれ、学者・教育者・詩人として著名な広瀬淡窓が開いた近世最大の私塾です。近代以降の日本の発展に貢献した多くの人材を輩出しています。

咸宜園教育の基本的な理念は「師弟同学」です。咸宜園では入塾の時点で「三奪」として年齢・身分・入塾までの学力は、無視され、みんな平等でスタートします。身分制社会の近世の私塾としては、最先端の理念です。そして、師も塾生も真理を追究する学徒として学びあうのです。

本学の建学の精神である「真理は我らを自由にする」の目指すところも「師弟同学」です。学生と教員は真理を追究する学問の前では対等の立場です。本学では、厳しさのなかで、互いに信頼しあうことを大切にしています。

教育・研究

- ① 専門研究分野は日本近世史（江戸時代史）です。当初は地方（じかた）文書を使って村落史、社会経済史研究を行っていましたが、大分に赴任してからは、大分県下をフィールドとした政治史、藩政史、文化史、文化財保護など近世史全般を研究領域としています。
- ② 近年は、豊後岡藩の政治や岡城、竹田城下町や咸宜園を生み出した日田の豆田・隈町、佐伯藩や中津藩、臼杵藩など地域の歴史をトータルに捉える試みを行っています。そして、「歴史は足で書く」をモットーに現地主義をとっています。「史学の別府大学」のお役に立てたら幸せです。

本学は、100年余の長い歴史の中で、沢山の卒業生を出し、国内外で活躍しています。卒業生の組織である同窓会の方々、大学と緊密に連携しています。そして、卒業生の子どもさんや、お孫さんも数多く本学で学んでいます。別府大学は、入学した皆さんが「弟や妹に、そして子や孫に薦める大学」と思う、「面倒見のいい大学」づくりを目指しています。

本学には文学部・食物栄養科学部・国際経営学部の3学部と大学院文学研究科・食物栄養科学研究科があります。文学部では、基礎的な学問の探求と最先端の文化創造によって、バランスのとれたスペシャリストとジェネラリストの育成を行っています。食物栄養科学部では、食の危機が叫ばれるなかで、食物のスペシャリスト、プロフェッショナルを送り出しています。設置されて2年目の新しい学部、国際経営学部は、グローバル化のなかで、国内外の経済社会に出て活躍できる人材の育成に燃えています。

これらの組織は互いに連携・協力しながら教育・研究・社会貢献をしています。皆さんの先輩たちや先生方は、大学での学習や研究のほか、校外での様々な実習や職場体験実習などに頑張っています。サークル活動やボランティア活動で大活躍している人たちもいます。皆さんも一緒に活動しませんか。

別府大学では、学びへの意欲に溢れ、学生生活を通して社会に貢献する実践力を身につけ、自分自身に一層磨きをかけたいと熱望している皆さんのご入学をお待ちしています。





別府大学短期大学部 学長 金子進之助

1939年 ソウル生まれ 高校卒業まで長崎市で生活
1965年 九州大学文学部卒業(哲学科心理学専攻)
1965年 大分県中央児童相談所勤務(主事・心理判定員)
児童部相談判定課長
大分県社会福祉センター専門心理判定員
1989年 大分県退職
1989年 別府大学短期大学部教授
幼児児童教育研究センター所長
初等教育科学科長
別府大学短期大学部学生部長
同学長補佐
同副学長
保育科学科長
2010年 別府大学短期大学部学長

「輝く学生」に会える喜び

現在、短期大学部の学科は、食物栄養科・初等教育科・地域総合科学科・保育科それに専攻科福祉専攻および専攻科初等教育専攻があります。

食物栄養科は栄養士養成を行っていますが、素直で熱心な学生が育っています。県下の保育所その他の職場で評価されています。初等教育科は小学校・幼稚園の教師、保育所や児童施設の保育士の養成を行い、良き先輩の導きもあって高い就職率を誇っています。

地域総合科学科では現在、総合ビジネス(情報・ビジネスファッション)、ライフデザイン(健康・福祉・ファッション)、トラベル&コミュニケーション(外国語・観光)の系列からいくつかの科目群を選んで学習します。学習科目に応じた専門的学習や資格がとれるようになっていきます。また留学生のための通訳コースも設けられ、外国人の受け入れも行

教育・研究

- ① 専門分野は、児童福祉学及び臨床心理学(心理的な悩みを持ったり、行動上困っている人への援助)。これまでの経験を生かして、保育士になる学生に児童福祉(子どもの幸せ)について教育し、あわせて保育士が子ども援助をする場合に臨床心理学的な知識や、児童援助技法を身につけるように教育しています。
- ② 臨床心理学の中でも、心理療法とりわけ「心理劇」(劇技法を用いた集団心理療法)を研究しています。技法開発とその応用について研究しています。また虐待を受けた児童への心理的な援助や、犯罪被害を受けた人への心理的援助についても実践・研究しています。

われています。保育科は大分市以南の保育士・幼稚園教諭を希望する学生のために大分に設置しました。学園祭「コスモス祭」では毎年ソーラン節の踊りをにぎやかに見せてくれます。

初等教育科や保育科の学生は施設実習に参ります。食物栄養科も現地実習があります。地域総合科学科はインターンシップといって企業での実習があります。

重度障がい者施設に実習に行った学生の激励に行った先生の話です。「実習うまくいってるかい?」と訊ねた担当の先生に、「先生、私はこの施設に来てとても良かったです。この方達は自分では身の回りのことがおできにならないのですが、私が介助して上げます。私は19年の人生の中で、自分がこんなに必要とされているという実感を持ったことはこれまでありませんでした。実習が楽しくてたまりません」という答えが返ってきました。

このように話す学生達は輝いて見えます。そんな学生に会える喜びを私ももらっています。



創設者佐藤義詮の 夢を引き継いで

学校法人 別府大学
理事長 日高紘一郎



別府大学は今年、大学設置60周年の記念すべき年を迎えた。前身の女学校時代から通算すると102年の歴史である。それにしても、戦後新制大学の制度が発足して2年目という早い時期に、なぜ大分県の別府という地方小都市に私立大学が設置されたのか。そこには、自由主義的教育を地方都市で実現したいと挑戦し続けた本学の創設者故佐藤義詮の教育と学問にかけの夢があった。

明治39年に大分県野津原に生まれた佐藤は、県立竹田中学から東京・御茶ノ水にある文化学院に進んだ。与謝野晶子など文化人が教員として名を連ねる文化学院の自由な空気の中で、佐藤は一流の人士に接し、芸術や文学に理想の翼を広げていった。その様な環境の中で、若き佐藤は故郷大分に文化学院にならった自由主義的な学校を創設する夢を描いたと、私は想像している。



創立者・佐藤義詮（昭和30年頃）

文化学院を卒業した佐藤は、大分に帰り、中学時代の師の導きもあって女学校の経営に携わることとなる。戦前・戦中を通して自由主義的教育への夢を封じられていた佐藤は、戦後、堰を切ったように積極的な教育活動を展開し、昭和21年に別府女子専門学校（別府女学院）を開校する。建学の精神「真理はわれ



正門風景（昭和30年頃）

らを自由にする（VERITAS LIBERAT）」は、このときの開校式で佐藤が語った言葉である。昭和25年には女子専門学校を大学に昇格させ、別府女子大学を創設した。大学は文学部のみ（国文科、英文科）の小さな学園であったが、森と田園につまれた小さな校舎には、大学を創り上げる活気が溢れ、学生も教師も自由に学べる喜びに満ち、自由主義的教育を地方都市で実現したいという佐藤の永年の夢が実現していた。佐藤には、文学や芸術、歴史の教育研究を通じて「真理を愛し、自由を尊ぶ、真の教養ある人間を育てる」という考えが基本にあった。大学のタイプは、文化学院を想起させるリベラルアーツ型の教養大学である。彼は昭和62年に80歳で亡くなるまで自らの理想を貫徹し、地方都市にありながらも文学部だけの単科大学を貫き通した。



西村駿一学園長

その後、別府大学は佐藤の志を継いだ西村駿一前理事長（現学園長）の手腕によって発展し、現在、大学は文学部に加えて、食物栄養科学部、国際経営学部の三学部を擁し、短期大学部は四学科を擁するに至った。リベラルアーツと実学教育を兼ね備えた大学に成長したのである。しかし、その教育理念は、佐藤の素志を離れることはない。現在の別府大学には、佐藤の理想をそのままに、教員と学生の親密な関係が受け継がれている。小さいキャンパスには派手さはないが、家庭の団欒のような温かみがあり、おのずから人と人の距離を縮める動きがある。また、佐藤が理想とした「学問のサロン」の雰囲気も脈々と受け継がれ、分野も主張も異なる研究者が、学問分野や立場を越えて自由に語り合う。こうして別府大学は地方小都市における大学として成長を続け、今日、文学や歴史、芸術の拠点として大分の学問研究をリードし、地域を担う人材を輩出するに至っている。

多難な時代に理想の火を燈し続けた創設者・佐藤義詮。苦しい時代も佐藤を支え続けた志ある教員たち。現代は資格教育や実学がもてはやされ、人文教育の価値は軽視されがちである。しかし、人間や社会はそれほど単純なものではない。文学や歴史、芸術には人間を深く耕す大きな動きがあり、その存在価値は成熟した社会に欠かせないものであると私たちは考えている。そして、別府大学はいまも、自由主義教育を地方小都市で実現しようとした佐藤の夢を受け継ぎ、人文系私大の挑戦を続けているのである。

別府大学60年の歩み

1908年	豊州女学校設立	1998年	大学院文学研究科日本・日本文学専攻設置
1945年	別府女学院開設	1999年	大学院文学研究科文化財学専攻設置
1946年	別府女子専門学校認可 (国文科 英文科 経済科)	2000年	文学部に人間関係学科設置
1950年	別府女子大学設置認可 (文学部国文科、英文学科)	2002年	食物栄養学部開設、食物栄養学科設置
1954年	別府大学と改称(男女共学となる)	2004年	大学院文学研究科臨床心理学専攻修士課程設置
1963年	文学部に史学科設置	2006年	大学院食物栄養科学研究科食物栄養学専攻修士課程設置 食物栄養科学部に食物バイオ学科設置
1973年	文学部に美学美術史学科設置	2009年	国際経営学部開設、国際経営学科設置 文学部を国際言語・文化学科、史学・文化財学科、 人間関係学科の3学科に改組 食物バイオ学科を発酵食品学科に名称変更
1989年	別科日本語課程設置		
1997年	文学部に文化財学科設置 大学院開設、文学研究科歴史学専攻設置		

創立60周年記念事業

別府大学創立60周年記念書道展

5月に60周年記念事業の一環として、書道研究室の22年間の歩みを振り返り、また将来を展望する企画を実施しました。書道展では、書道教室のこれまでの活動を書



の作品(約100点)と甲骨文字や木簡を始めとする史資料(約100点)で紹介しました。また講演会では、学内外の5名の講師がそれぞれ報告を行い、書道研究室の過去・現在・未来を回顧、展望しました。書道展、講演会とも県下高校の先生・生徒を始め多くの皆さんに参観、聴講いただきました。

大分ユーモアまんが大賞

質実剛健が尊ばれる九州にあって、大分には吉四六話に代表されるようなユーモアに秀でた県民気質があります。このような地域の特性を活かし、心を和ませるユーモアまんがを公募し、大分から明るい笑いと豊かな想像力を発信します。募集作品はショートストーリー及び4コマまんがです。締切は平成22年11月30日、平成23年1月22日に受賞作品の発表を行います。詳しくは大学のホームページをご覧ください。



日本西洋史学会60周年記念大会

5月29・30日、大学創立記念事業に協賛するかたちで、本学が主催校となり

「日本西洋史学会60回大会」を開催しました。大会シンポジウムでは「世界史



教育の現状と課題」をテーマに活発な討論が行われ、小シンポジウムでは本学の教員及び卒業生が「大航海時代における東アジアの交流ー日本をめぐる銀と鉛等の金属交易を中心にー」をテーマに、斬新な議論を展開しました。また、時代別の分科会では最先端の研究成果35本が報告されました。大会には約500名が参加し、2日間にわたり熱のこもった報告と討議が行われました。

今後の記念事業

- ① 地域連携型調査研究「別府診断」
- ② 講演会「時空を超えて香りで遊ぶ」
- ③ 展示「田染荘の景観」
シンポジウム「文化的景観と地域連携」
- ④ シンポジウム「精神障がい者のための地域連携(保健医療福祉)」
- ⑤ 展示「別府大学史」
- ⑥ 公開講座「文学、ことば、絵 一伝えたいこと 伝わることー」
シンポジウム「文学・絵にして伝えてきたもの」

特集2 別府大学の挑戦 地域連携(1)

県内自治体との協力協定

学校法人別府大学は一昨年（平成20年）創立100周年を迎えました。別府大学は今年60周年を迎え、4年後には短期大学部も60周年を迎えます。学校法人別府大学は「大分の地元の学園」として、この歳月を地域とともに歩んできました。これからも教育・研究をとおして地域に貢献できる大学でありたいと願っています。

県内12市町村と協定締結

学校法人別府大学は、平成6年7月1日に旧宇佐市と交流協定を締結して以降、別府市（平成16年）、旧挾間町（平成12年）、日田市（平成18年）、由布市（同年）と協定を結び、本年度は国東市、竹田市、杵築市、姫島村、大分市、豊後高田市、日出町と協定を締結しました。

本学は文学部、食物栄養科学部、国際経営学部及び短期大学部を擁し、歴史、文化、教育、福祉、栄養、食品開発、経営・経済等幅広い分野にわたり教育・研究を実践し、有為な人材を社会に送り出しています。今後ともこの様な大学の知的資源を地域の振興のために活用していきたいと願っています。各自治体とはこれまで築いてきた相互の協力関係を一層充実させるかたちで、各市町村の風土、歴史・文化、産業などの特色を生かした相互の取り組みを展開していきます。



国東市 協定

平成22年1月26日国東市と協定調印。前列右から3人目が野田侃生国東市長、4人目が日高紘一郎理事長、5人目が西村明前学長



竹田市 調印

平成22年5月16日竹田市と協定調印。右から首藤勝次市長、中川久定氏（京大名誉教授、中川家18代当主）と日高紘一郎理事長



杵築市 協定

平成22年7月20日杵築市と協定調印。日高紘一郎理事長（左）と八坂恭介杵築市長（右）



姫島村 協定

平成22年7月26日姫島村と協定調印。右から藤本昭夫姫島村長、次森久雄大分県東部振興局長、日高紘一郎理事長



大分市 協定

平成22年8月18日大分市と協定調印。日高紘一郎理事長（右）と釘宮誓市長（左）



豊後 高田市 調印

平成22年10月10日豊後高田市と協定調印。日高紘一郎理事長（左）と永松博文市長（右）



日出町 調印

平成22年10月14日日出町と協定調印。右から工藤義見町長、次森久雄大分県東部振興局長と日高紘一郎理事長

田んぼに「夢米（ゆめ）」を咲かせよう

別府大学と大分県は今年1月、稲作を通じて食の安全、食料自給率、環境問題などを学生たちに考えてもらおうと、「大分農業文化公園棚田プロジェクト」協定を結びました。これを受けて誕生した「夢米（ゆめ）棚田チーム」は農業文化公園に直接出向いて、稲作の方法だけでなく、その



意義などを学んできました。

6月27日（日）、食物栄養科学部、文学部、国際経営学部の学生ら60人と教職員が田植えを行いました。チームは、自らの手でモミまきして育てたヒノヒカリの苗を手で分けながら植えました。その後、除草作業などを経て10月半ばに収穫を行いました。さらに10月下旬に別府公園で行われる大分県農林水産祭に出展するほか、大学の石垣祭にも店を出して成果をアピールします。ただし「本番」はそのあと。農業文化公園内の別の土地に棚田4枚（約8アール）を新たに造成し、来年はそこで今回学んだ知識をもとに新しい稲作体験に臨む予定です。

「わっしょい！ 子ども夏祭り in わさだ」でボランティア活動

7月31日（土）、穂田公民館主催の夏祭りでは、昨年引き続き短期大学部保育科の1年生がボランティア活動に取り組みました。この「子ども夏祭り」は、未就学児と小学校低学年の親子を対象に、様々な遊び体験をしながら地域交流を深める目的で開かれている企画です。将来、地元で保育士・幼稚園教諭を



希望する学生たちのアイデアを取り入れて、昨年よりも更に充実させたいという主催者の願いもあり、保育科の学生代表4名が実行委員会に入り、地域の子育て支援のグループや、読み聞かせ、昔の遊びを伝えるグループ等と共に、祭りの企画運営に積極的に携わりました。

学生たちが中心となって取り組んだ企画は、造形活動、リズム遊び、読み聞かせ等でしたが、それ以外にも地域のボランティアの方たちと一緒に、竹太鼓、金魚・ヨーヨー、巨大迷路、バルーン、折り紙、スライム等の各コーナーで活動しました。

地域連携の様々な取組み

学科等	プロジェクト名	学科等	プロジェクト名
国際言語・文化学科	大分ユーモアまんが大賞実施	人間関係学科	自立支援等に移行した旧知的障害者福祉工場が精神障害者を受け入れるための施設改革を支援
	「NAN-NAN」の制作・運営		「コミュニティーカフェ」の運営
史学・文化財学科	宇佐市主催「市民環境歴史教室」との連携		「別府市軽度発達障がい児支援事業」の支援
	田梁小崎地区景観保全支援事業の実施	別府市湯けむり景観保存計画（別府市教育委員会）	
	耶馬溪羅漢寺の歴史調査事業の実施	健康体操教室の実施	
人間関係学科	「自死遺族のつどい」の支援	高齢者健康教室の実施	
	「いのちの電話」の支援	地域（竹田市）における食物アレルギー児受診システムの試み	
	「子育てネットワーク大分」の支援	大分県理科教員研修会の開催	
	「別府市地域協育プロジェクト」の支援	第3回 市民討議会・見本市の開催	
	別府大学BBS会による社会貢献活動	地域フォーラムin別杵速見の開催	
	生涯学習論の授業を通じた近隣小学校の学習サポート活動	発酵食品・加工食品地域共同	
	「大分精神障害者就労推進ネットワーク」の支援	センターにおける技術相談活動	
	精神科病院の地域包括医療に関する援助	司書課程	
精神障害者の個別就労支援モデル（IPS）に取り組んでいる企業への支援	子どもの読書活動推進研修会の開催		

学生の自主的な学会活動!

文学部 史学・文化財学科 「史学研究会学生部会」と「研究室活動」

別府大学の特長は「教員と学生の親密な信頼関係」にあり、各学部・学科では、そのような環境づくりに努めています。本稿では、文学部史学・文化財学科の取り組みとして「別府大学史学研究会学生部会」による「研究室活動」を紹介します。



◆11の研究室

史学・文化財学科には、学生による課外学習組織として、11の研究室が置かれています。具体的には、アジア史研究室、考古学合同研究、女性史研究室、西洋史研究室、東洋史友永研究室、日本近世近代史研究室、日本古代史・中世史研究室、日本城郭研究室、文明学研究室、民俗学研究室、歴史・美術研究室の各研究室です。

研究室活動の歴史は古く、昭和38年の史学科誕生後には5つの研究室が活動を開始しています。

◆研究室の組織

各研究室は、メンバーである研究室員（学生）と顧問教員により構成されています。学生の中からは室長が選ばれ、毎月11名の室長による室長会議が開催され、研究室活動の意見交換や調整が行われます。

◆史学研究会学生部会

史学・文化財学科には、教員・学生・卒業生による学会「別府大学史学研究会」が組織され、年数回の研究会を開催するとともに、機関誌『史学論叢』を発行しています。

この史学研究会には「学生部会」が設置されています。前述の11研究室は、この学生部会の活動（＝史学研究会の活動）として位置づけられています。学生部会の部員は100名前後にのぼります。

史学・文化財学科の新入学生オリエンテーションでは、学生部会編集の研究室紹介冊子『道標～みちるべ～』を配布し、学生部会や各研究室の代表者がそれぞれの活動を紹介します。

◆研究室の活動

研究室活動は週2回ほど放課後に行われ、個人研究やグループ研究、古文書の学習会、外国語文献の読書会、研究室が探求するテーマの勉強会などが活発に行われています。年1回機関誌を発行し、研究成果発表の場としている研究室も

あります。さらに、フィールド・ワークや現地調査、合宿や研修旅行など学外での活動も積極的に行われています。

◆大学祭での研究発表会

このような活動の集大成として、11月の大学祭において、学生部会主催の研究発表会が行われます。各研究室は、この発表会に向けそれぞれ研究テーマを掲げ、室員全員による分担研究を行います。

発表会に向けては、レジュメを作成し、事前発表会を行うなど、入念な準備をします。発表の内容は専門性が高く充実しており、日頃の研究活動が真摯に行われていることがわかります。

本年5月に本学で開催された「日本西洋史学会」において、学生部会のメンバーが裏方として大会運営を支え、大きな貢献を果たしました。研究発表会で培われた企画・運営の力が発揮されたと思います。

◆むすび

学生による研究室活動は、史学・文化財学科の伝統となっており、この活動の中からこれまで教員や文化財行政に携る多くの人材を輩出して来ました。他大学に類例を見ない、優れた取り組みと言えます。この伝統を絶やすことなく、今後ますます発展させてゆくことが期待されます。



小学校教員になりたい学生は注目!

短大 専攻科初等教育専攻 「教育マイスタープロジェクト」

別府大学短期大学部専攻科では、小学校教員の二種免許状を持つ学生を、別府市内の小学校に派遣してベテラン教員に「弟子入り」させ、実践力を養成する、「教員養成マイスタープロジェクト」を実施しています。



◆短大の小学校教員養成システム

別府大学短期大学部初等教育科は、幼稚園教諭二種免許状や小学校教諭二種免許状が取得できる課程として、40年以上にわたって幼稚園教諭や小学校教諭の養成に携わってきました。

また、平成8年に短大に設置した2年課程の専攻科初等教育専攻では、短大で二種免許状を取得した学生が、さらに幼稚園教諭一種免許状や小学校教諭一種免許状を取得できるようにしています。

このように、別府大学短期大学部では、短大と専攻科の2つのステージを通じて幼稚園教諭と小学校教諭の一種免許状が取得できるようになっています。

◆教育マイスタープロジェクト

近年、学校教育の課題が多様化し、大学には実践的指導力を備えた教員の養成が求められています。別府大学短期大学部専攻科初等教育専攻では、このような社会的要請に応えるため、文部科学省の支援を得て、平成17年度から教員養成プログラム『教育マイスタープロジェクト』を実施しています。

これは、小学校教諭二種免許状を取得済みの専攻科の学生が、専攻科の教育の一環として、別府市内小学校のベテラン教師（教育マイスター）のもとでAT（アシスタントティーチャー）等として勤務する取り組みです。

◆プロジェクトの具体的な内容

【研修内容】 一種免許状取得を目指す学生が、ベテラン教員のクラスでATとして勤務し、ベテラン教員の人間性・学級経営術・教科指導技術を見て、肌で感じて、学び取ります。

【研修対象】 別府大学短期大学部専攻科初等教育専攻2年次

の学生

【研修期間】 10月から1月にかけての30日間（週3日×10週）

【研修機関】 別府市内の小学校

【評価方法】 大学側の指導教員が定期的に巡回し、現場の指導教員の意見を聞きます。11月頃に現場の指導者や学生を交えて問題点を検証し、取り組みの改善を図ります。研修終了後には評価会議を持ち、評価を行います。

【単位認定】 総合教育演習2単位として単位認定します。

◆プロジェクトの教育効果

学生にとっては、ベテラン教員の人間性や永年醸成してきた指導方法に接する貴重な機会であり、教員としての自覚、社会的責任、教育姿勢など学ぶメリットは計り知れません。また、ATとして現場に立つということは「実習生」ではなく、二種免許状を生かして「非常勤講師」として勤務するということです。「一人前の教員」としての体験は、緊張感を伴い、即戦力を目指す教員養成の方法として極めて効果が大いと言えます。

学生からも「実際の小学校で実習生としてではなく、一人前の先生として子どもたちと関わることができました。今までの実習では、子どもたちに遠慮がちだった私ですが、マイスタープロジェクトの中で、子どもたちと真剣に向き合い、日々成長していく姿を自覚することができました」といった声が寄せられています。





古墳時代から現代までの考古学を幅広く研究する上野先生。別大出身の若き研究者に話をうかがいました。

現場で通用する文化財専門家を育てたい

— 考古学というと縄文や弥生をイメージします

考古学は先史時代のものと思われがちですが、歴史時代の考古学も非常に面白い。私が一番関心を持っているのは大友氏を中心とした豊後（大分県）の中世考古学です。

大友氏には、千年にわたる古文書が残されています。また、大分市中心部の大友氏館跡の発掘調査がこの十年ほど進められており、私も調査に携わっていました。文書も遺跡もあり、研究対象として懐が深い。将来的には、考古学と歴史学の成果を合わせた「大友氏史」の叙述も視野に入れています。

— そのほかに関心を持っているのは

別府市の鷹塚古墳です。別府大学文化財研究所が発掘調査した結果、九州では非常に稀な方墳だと分かりました。おそらく大和政権との関わりの深い有力者の墓でしょう。磐井の乱など九州の有力豪族と大和政権の複雑な関係も時代背景としてあり、古代史上貴重な遺跡です。

ほかに、日田市小鹿田焼の廃窯の考古調査を行なっています。昨年、小鹿田焼の里が国の「重要文化的景観」に指定されました。研究で地域に貢献できるのは嬉しいですね。

— 考古学を志した理由は

もともとは考古学志望ではなかった（笑）。大学2年の夏休みに、実益と勉

強を兼ねたアルバイトがしたいと後藤宗俊先生（現文学部名誉教授）に相談したら、遺跡発掘のアルバイトを紹介されました。これが考古学との縁のはじまりです。発掘現場でいろいろな方と知り合えて非常に楽しかった。そのうえアルバイト料もよかった（笑）。それ以降、夏休みには必ず発掘のアルバイトをしました。お陰で病弱だった身体が丈夫になりました。

— 考古学の面白さは

明日何が起こるか分からないこと（笑）。一つの埋蔵文化財の発見が、新たに歴史の秘密を解き明かすかもしれない。実物を通じて歴史と直にふれあうことができる。そんなドキドキする感覚があります。

あと、古文書には偽文書等嘘が書かれている可能性があります。考古学の場合、モノ＝資料は嘘をつきません。もし間違えたら、それは研究者の責任です。そのような厳しさの中に面白みがあります。

— 授業で心がけていることは

現場で通用する文化財専門家を育てる



ことです。知識があるだけでは駄目。歴史の現場を踏み、発掘調査やフィールドワークを任せられる人間になってほしい。そのためには測量や発掘の技術などを身につける必要がありますし、人間としても成長する必要があります。

それと遺跡や遺物を大切に扱うことです。埋蔵文化財の多くは開発に伴って潰されていくのが現実です。私達が作成する「調査報告書」は、いわば歴史遺産の「遺言書」にあたる。それだけに調査者の責任は重い。たとえ小さな土器片でも大切に扱わない人間は文化財専門家として失格です。そんなときには厳しく叱ります。最近では、自治体の方々から別大の卒業生の評判が良くなって来ました。現場で通用する専門家を育てるという点では、絶対に他大学に負けたくありません。

— 学生へのメッセージをお願いします

歴史に興味がある人はどんどん研究室に来て下さい。思えば私自身、後藤先生に発掘調査を紹介してもらわなかったら、考古学者としての自分は無かったでしょう。別府大学のよさは、教員と学生の距離が近いことです。遠慮なく門をたたいて下さい。

上野 淳也 助教 プロフィール

- 別府大学文学部助教（史学・文化財学科所属）
- 福岡生まれ、佐賀育ち
- 専門は歴史考古学
- 別府大学文学部史学科卒、同大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学（歴史学専攻）。文学博士。学生時代は弓道部に所属。
- 大分県や大分市の文化財担当嘱託職員、大学附属博物館学芸員等を経て現職

vol.2 平川 史子

食物栄養科学部 准教授（食物栄養学科）



スポーツ栄養学、ライフステージ栄養学がご専門の平川先生。管理栄養士のことを中心に話をうかがいました。

管理栄養士の魅力を伝えたい

— どのような研究をされていますか

主な研究テーマは、スポーツ栄養学とライフステージ栄養学です。スポーツ栄養学では、アスリートの生活習慣、食習慣を調査し、競技力向上のために最適な栄養摂取のあり方を研究しています。ライフステージ栄養学では、赤ちゃんからお年寄りまでそれぞれのライフステージでの健康の維持・増進、疾病予防と食生活のかかわりを研究しています。

— 福岡ダイエーホークス（現ソフトバンクホークス）でお仕事をされていたそうですね

大学卒業後、宮崎の病院で管理栄養士をしていましたが、福岡に転居することとなり、大学の恩師からダイエーホークスの仕事を紹介されました。当時はスポーツ栄養学という分野が確立されておらず、他球団でも管理栄養士を雇うという例はまだなかったと思います。病院と環境が違いますし、初めてのことで最初は戸惑いましたが、球団のスタート時でもあり、新しい分野を若い人に任せてみようというチャレンジ精神が球団にあったのでしょうか。非常に幸運でした。

— 球団での仕事内容は

食生活を含めた野球選手の健康管理です。プロ野球選手が目指すのは、故障しない身体づくり、運動能力の向上です。私はそれに必要な食事・栄養の指導を個々の体調等に応じてしていました。また、寮や遠征先のホテルでの食事メニューを考えたり、選手の奥様達に栄養指導や料理講習会をしたりしました。プロ野球は一年一年が勝負の厳しい世界です。皆さん向上心が強く意識も高い。こ

ちらもプロとしての力量が問われます。未開拓の分野でアプローチが難しかったけれど、管理栄養士として鍛えられました。

— 管理栄養士を志した理由は

もともと医療関係の仕事をしたと考えていました。医療関係の資格が取れて、現役で入学できると考えていくと、最終的に選択肢に残ったのが管理栄養士だったというわけです。

— 管理栄養士を選んでよかったですか

本当によかったと思います。管理栄養士は、人間が生まれてから死ぬまで、毎日の生活を通して健康に関わります。自分が実際に子どもを育てるようになり、食事の大切さを思い知るたびに、この仕事の重要性を感じます。

— まさにライフステージ栄養学ですね

そうです。一生の健康の土台は子どものころの食事の影響が非常に大きい。いま明豊中学・高校の生徒の栄養指導を行っています。自分自身も二人の子どもの親として家庭でライフステージ栄養学を実践している最中です。

— 管理栄養士になるのは大変ですか

管理栄養士になるには大学を卒業して国家試験に合格する必要があります。そのぶん授業は厳しいですし、たくさん勉強をしなければなりません。人の健康にかかわる仕事につくわけですから、高い志をもって頑張ってもらいたい。幸い、大学には同じ目標を持った友人がたくさんいます。友人とともに努力すれば、苦労も楽しさに変わるでしょう。

— 友人関係も大切ですね

管理栄養士は、食を通じて人間に奉仕す

る仕事です。そのためには、知識や技術だけでなく、相手を思いやる心、コミュニケーション能力なども大切です。勉強だけでなく、積極的に社会と関わり、友人や親子の関係を大切にしてほしいですね。

— 別大の印象は

学生が素直で明るい。授業態度も真面



目で、入学後に伸びる学生が多い。みな仲がよく、目的意識を持って励みあっています。教員は優しい方が多く、指導に熱心ですね。

— 学生へのメッセージをお願いします。

皆さんが管理栄養士の試験に合格し、職場で実際に役立つ知識や技術を身につけることができるよう、最大限のサポートをしたいと思います。一緒にがんばりましょう。

平川 史子 准教授 プロフィール

●別府大学食物栄養科学部准教授（食物栄養学科所属）

●福岡女子大学家政学部卒、同大学院人間環境学研究科栄養健康科学専攻修士課程修了

●管理栄養士、人間環境学修士

●宮崎県立延岡病院、福岡ダイエーホークス（現ソフトバンクホークス）において管理栄養士として勤務

●専門はスポーツ栄養学、ライフステージ栄養学。大分県食育推進会議会長を務める。

国際派 集まれ!! Join Us!

「スマイル・サロン」で国際交流しませんか

今年の5月下旬から、日本語教育研究センターと国際交流会の共同運営で交流拠点「スマイル・サロン」を始めました。国際交流会は、別府大学の日本人・外国人学生からなるサークルです。場所は別府キャンパス内1号館22番教室。平日の16:30から18:00まで「開店」しています。留学生はもちろん、留学生と交流がしたい人ならだれでも気軽に利用できる“溜まり場”として、先生方と留学生の待ち合わせや地域の方々や留学生の出会いの場に利用できます。肩肘張らずに、ふらりと立ち寄れる気楽な場所を心がけています。活動内容は特に決めず、トランプ、UNO、百人一首、神経衰弱やジェンガなどのゲーム、「日本語で話したい」という留学生にはお茶を飲みながらのおしゃべりなど、集まった人と相談して決めます。水曜日にはゲーム大会を行うこともあります。「多くの留学生と日本人が交流して、国際交流の中心になったらと考えています。そのためにも、これから交流しやすい場所にしていきたいです」と国際交流会代表の三浦彰子（史学科3年）さん。



「English Cafe」でコミュニケーション力をつけませんか

英会話の学習方法は、清聴、聞き流し、ロールプレイなど interactive性を高めるものなどいろいろ工夫され、効果を上げています。市販の教材も物語形式でネイティブが話しかけてくる仮想型、映画やドラマを見ながらリスニングの向上をはかるものなど様々です。学生諸君にはこれらに加えて英語での「普通につきあい」を経験してほしいと思います。英語を日常のコミュニケーションに使用している外国人と、個人的で自由なつきあいができれば、表情を用いた表現力豊かな会話ができるようになります。

国際経営学部では学生の英会話を担当されているシャーリー・ヤング先生にお願いして、だれでもいつからでも参加できる「English Café」を7月から始めました。文法を気にせずに気楽に英語に慣れ、英語圏の文化環境に親しみ、アジア人同士の共通語としての英語も理解してもらうことを目的としています。ヤング先生は大分県で長く英語教育に携わってこれ、自己表現に消極的な学生を自然な対話に引き込んで行く術を心得ておられます。さらに多くの学生が参加することを希望します。



頑張ってます! 留学生

母国スリランカに日本語学校

別府大学大学院で学ぶスリランカ出身の留学生、スチッタ・グナセカラさんが母国に日本語学校を設立しました。スチッタさんは、日本語を勉強しないまま来日した経験を持ち、当初は授業についていくのにかなり苦労したとのこと。このため、これから日本にやってくるスリランカ人の後輩に早い段階で日本語に馴染ませ、日本での学習・生活の負担を軽減させようと思い立ったそうです。

日本語学校はスリランカのニゴンボ市に自身のアルバイト代などをつぎ込んで設立。第二の故郷となる別府の名を冠し、「別府日本語学校」と命名しました。当面は高校の校長を



している父親の支援のもと、この日本語学校の経営を行いますが大学院での研究を続ける予定です。

上海万博で大分観光の「PR特使」に

中国で5月に開幕した上海万博で、別府大学短期大学部地域総合科学科2年、陳玉さん（中国黒竜江省出身）らが踊りや歌を披露し、大分県の観光PRを行うことになりました。陳さんは、オーディションで選ばれた中国人女性8人で結成する「大分おどり隊」のリーダー。上海万博の日本館では、9月下旬から10月にかけて各都道府県がさまざまなイベントを展開する予定ですが、陳さんは9月29日の「大分の日」に別府音頭、豊後高田市の草地おどりなどを披露し、大分県の「観光PR特使」を務めることになっています。



国際経営学会誌が創刊しました

国際経営学部

別府大学国際経営学部の国際経営学会は7月、学会誌「Global Management」を創刊しました。2009年に開設された国際経営学部は、①国際経営人材の育成②実務家と研究者の交流—などを見据えた研究拠点として国際経営学会を設立。「Global Management」はその中核と位置付けられ、今後は国際経営学部の教員、学生、そして企業、地域住民なども参加する学術誌になると期待が強まっています。創刊号は論文、研究ノートが中心になっていますが、大分銀行小倉義人取締役頭取（現取締役会長）と西村明別府大学学長（前学長・2010年3月末日をもって学長を退任）の対談を特集したほか、学部研究会動向なども織り交ぜ、従来の学部紀要にないユニークさを取り入れるのが特徴です。



豊後高田市との交流が充実

地域総合科学科

昨年の「収穫祭（稲刈り）」に続き、6月13日、国東半島の豊後高田市田染庄の「御田槍祭（田植え）」に授業の一環として学生が参加しました。あいにくの雨模様でしたが、早乙女（男）姿の学生は、これまでにない経験に大満足でした。昨年から同市との共同で、様々な地域交流型の実習が行われていますが、今年は、さらにその内容が充実してきました。

そうした新たな試みとして、これまでは日程などの関係で日本人と留学生と別々に行われてきた地域観光実習を、豊後高田市の観光課の協力のもと、合同で行いました。これは、同市におけるグリーンツーリズム（農家でのホームステイ、竹細工製作、そうめん流し試食等）のプログラムに、安心院ワイン工場見学、院内の石橋の見学などを加えた体験実習（7月10日～11日）でしたが、今後は、既成のプログラムに加え、日本人と外国人留学生が互いに意見を出し合ってオリジナルなプログラムを作れるような方向性を探っていく中で、国際的な視点から地域観光資源の開発に携われる学生教育をすすめていきたいと考えています。



自分を見つめなおす「看護の日」

別府大学附属看護専門学校

近代看護の基礎を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで、「看護の日」の式典が10日に執り行われました。

看護師を志した学生、教務の先生による献花が行われ、揺らめくロウソクの光に照らされたナイチンゲール像の周りに、多くの花が埋めつくされました。厳かな雰囲気の中、私達は自己を振り返り、それぞれの看護に対する思いを再度、見つめ直すことができました。

また同日、認知症の高齢者の尊厳を回復し、不安を軽減するためのコミュニケーション法である「バリデーション」についての講演も行われました。日本では、まだ新しい分野の技法で、私自身初めて耳にする言葉でもありました。

「バリデーション」とは、認めるという意味があり、認知に障がいのある高齢者をありのままに受け入れることを原則としています。たとえ、問題となりうる行動をとったとしても、全ての行いには意味があるものとして捉え、尊敬と共感を持って関わることに重点を置いたもの、ということを講演を通し学ぶことができました。

(1年 柳井みゆき)



明豊中学・高等学校 書道部の活動

明豊中学・高等学校

明豊中学・高等学校書道部は、現在合わせて約40名の生徒が在籍し、放課後の限られた時間の中で部活動に励んでいます。

地道な活動が少しずつ実を結び、「高野山全国競書展」や「全国学生競書展」など各書道展で入賞できる実力を備えてきました。そして、この度、昨年度行われた高等学校文化連盟中央展において、高校3年生の長野桃子さんが、九州大会大分県代表に推薦され、第16回九州高等学校文化連盟美術・工芸・書道写真展沖縄大会では作品部門優秀賞を受賞することができました。

また、大分県議会の会報「県議会おおいだ」の題字の依頼を受け、揮毫する機会も得ました。

一歩一歩、ゆっくりと、着実に歩みを進めた本校書道部が、学校全体にまた一つ新たな明るい文化の風を吹かせています。



別府大学附属幼稚園創立50周年記念運動会 開催

別府大学附属幼稚園

平成22年10月10日(日) 別府大学学内グラウンドにて、創立50周年記念運動会が行われました。

今年度は別府大学附属幼稚園が昭和36年に誕生してから50年を迎えます。節目の運動会にふさわしく年長組の「50th Rainbow」や育友会競技の「50周年記念変わりリレー」など内容を工夫しました。50回縄跳びを跳ぶ・50歩二人三脚をする・50回ボールについて次の人にバトンを渡す等、お父さんお母さん達も必死になって燃えました。

そして閉会式では、応援席からも参加してもらい会場にいる全ての人がグラウンドいっぱい広がって、「別大ソーラン節」を踊って締めくくりました。「ソーランソーラン」の声が大空へと響き渡って会場全体が一体感に包まれたと同時に、50年の伝統がこれからの附属幼稚園へとつながった瞬間だと感じました。

たくさんの人に支えられて受け継がれてきた附属幼稚園の運動会となりました。



学校法人別府大学と別府大学同窓会との意見交換会

別府大学同窓会

8月20日、別府大学で日高理事長、両学長を含む12名の大学幹部と同窓会会長、副会長を含む11名の同窓会役員との間で、相互協力に関する意見交換会が行われました。今回が2回目、双方からの質問・要望に対し、同窓会奨学金の創設、学生募集、大学教育、保護者懇談会、就職懇談会等への同窓生の参画など建設的な意見が交換されました。大学と36,000人を擁する同窓会とが車の両輪として機能し、今後の大学発展のために相互協力していくことがあらためて合意されました。



サークル活動で学生生活充実

スポーツ振興会

別府大学スポーツ振興会（学生団体）は、今年 33 年目を迎えました。

『真理はわれらを自由にする』、この建学の精神のもと、スポーツ振興会は更なる発展を遂げており、本年度は全国ハープサミットへのボランティア参加、大学周辺地域の防犯パトロール、地域行事の積極的参加といったように、スポーツ以外の様々な活動に取り組み、評価を頂いています。もちろん、本来のスポーツ面に関してもスポーツ振興会に所属している体育系 21 サークル各々が自らのサークルの運営方法・練習メニューを考え、よりよい結果を残すために、日々部員同士協力しながら練習に励み、他大学に負けない成果を残す様努力しています。

32 年の歴史を先輩方から受け継ぎ、後輩達に引き継ぐ。本年度からまた新たなスポーツ振興会の歴史が始まります。スポーツ振興会に所属する学生全員が参加してよかったと思える環境



づくり、雰囲気づくりを目指し、「やる気」と「笑顔」をモットーに、今後も日々精進していく所存です。

別府大学スポーツ振興会
第 32 代会長 山鹿晃平

文化会

別府大学文化会は文化系サークル 20 団体から構成されており、それぞれが目標、目的にそって日々楽しく活動しています。

文化会全体で開催する行事としては、5 月に新入生歓迎のお祭りであるさつき祭、11 月に学園祭である石垣祭への参加、またリーダーシップトレーニングという研修旅行等があります。さつき祭や石垣祭の実行委員は文化会構成員（各サークルから選出して）が加わり企画・運営を行っています。

さつき祭は各サークルが自己紹介 CM、ステージ企画、展示などを行い、各サークルの活動がはっきりとわかる機会となっています。また、文化会は全体として積極的に大分県や別府市などが主催するボランティア活動に力を入れています。一昨年は大分国体・全国障害者スポーツ大会に参加しました。昨年からは、地域の安全のために各サークルから有志を募り、防犯パトロールを行っています。他にも地域のお祭りの手伝いや、音楽祭のボランティア等にも参加しています。

こういったサークル活動やボランティア活動は社会に出た時、必ず役に立つと思います。今後とも積極的にサークル、ボランティアに参加し、今まで見えなかったものや、知らなかった事を多く経験し、充実した活動を、各サークルに期待しています。



文化会第 30 代会長
植田啓紀

輝いています！ 新入生



別府大学附属看護専門学校41 回生 1 年 原田温子

私は准看護師から看護師を目指し本校に入学しました。更に専門的な知識・技術を学び、臨床で多くの患者様の力になりたいと思っています。最初はたくさんの課題レポートと、環境の変化になかなか慣れず、授業に追いつくのがやっとでした。2 年間クラスメートと支え合い、所期の目的である夢の看護師資格を取得したいと思います。

地域総合科学科 1 年 園田香織

私は現在、ホームヘルパーや司書など様々な資格を取るため勉学に励んでいます。今はまだ、何が自分に合っているのかわかりません。しかし、何もしていないのは駄目だと思い、私は在学中にできるだけ多くの資格を取ろうと考えています。ボランティア活動にも積極的に参加し、経験を通して自分が本当に就きたい職業を探したいと思っています。

国際言語・文化学科 1 年 石 美照

今まで一度もこんなに長期間家族と別れたことがなかった私は不安な気持ちばかりでした。こんな私が別府大学に来たのはこの不安な気持ちより大切なユメがあったからでした。幼い頃からのユメだった同時通訳家を目指しここの別府大学で勉強しています。ユメを叶えるため一番重要なのは、自分の目標をもつことであり、自分を信じて進む道を選ぶ事だと思います。

人間関係学科 1 年 古江由佳

私は、福祉の仕事についてより深く学ぶためにこの学科に入りました。入学して少しずつ勉強していますが、まだまだ分からないことばかりです。これからの大学生活で、福祉についてもっとたくさん学んでいきたいです。一人暮らしもしているので、一人暮らしでしか経験できないこともたくさんして、大学生活を充実させていきたいです。

発酵食品科 1 年 大場美波

私は、醸造家になることが目標です。大学では、中学校や高校とは違い自分から動いていかないと何も学ぶことができません。特に自由参加の学外授業は、ほとんど休日にあります。しかし、そのような活動でしか学べないことが多々あります。普段の講義のみでなく、できるだけ多くの活動の体験を積み重ねていきたいと考えています。

国際経営学科 1 年 大崎采美

私はたくさんの資格を取得したいです。これから企業への就職が必要になってくるであろう簿記は、一年次のうちに身に付け、語学の授業は積極的に参加し、他国の人と同レベルで仕事のできる人間になりたいです。新設2年目の国際経営学科はこれらが期待されています。その期待を裏切らぬよう、学業に専念し、社会に出て、大いに活躍出来る人物に成長したいと思います

新任者紹介

① 所属 ② 専門分野 ③ 出身校 ④ 別府大学の学生に一言

Shirley Young (シャーリー・ヤング)



- ① 文学部 国際言語・文化学科
- ② 実用英語
- ③ Australian National University
- ④ I think a great strength of Beppu University is its size. The campus is a place of intimacy and contact; teachers and students can build personal relationships and this means a better learning experience and environment for self-discovery. I encourage students to use these years to explore themselves, who they are and the place they want to make for themselves in their community.

米村 浩 (ヨネムラ ヒロシ)



- ① 国際経営学部 国際経営学科
- ② 国際金融・ファイナンス
- ③ 一橋大学商学部・筑波大学大学院社会学研究科
- ④ 温泉同様あたたかい印象です。一緒に楽しく自分を磨き上げましょう。

矢澤 信雄 (ヤザワ ノブオ)



- ① 国際経営学部 国際経営学科
- ② 管理会計・原価計算
- ③ 東京大学教養学部広域科学科、大阪大学理学部数学科
- ④ 別府の地元文化の要素と留学生のインターナショナルな要素をどのようにフュージョンさせるべきか検討中。学生時代の友人は一生の友人になります。いろいろな人と語り合いの輪を広げていってください。ただし、勉強も少しはしましょう。また、逆にこの4年間で資格試験などに向けて本気で勉強した人は大きなアドバンテージを得ることができます。遊ぶことと勉強することのメリットと損失をよく考えましょう。

中村 弘幸 (ナカムラ ヒロユキ)



- ① 食物栄養科学部 食物栄養学科
- ② 公衆栄養学
- ③ 熊本県立大学大学院 環境共生学研究科 博士前期課程環境共生学専攻
- ④ 大学時代はあっという間に過ぎて行きます。その中で、様々な経験をし、人間として大きくなって欲しいと思います。そして、卒業時には楽しかったと笑えるような充実した毎日を過ごして下さい。

阿部 敬信 (アベ タカノブ)



- ① 短期大学部 初等教育科
- ② 特別支援教育学
- ③ 放送大学大学院文化科学研究科教育開発プログラム
- ④ 別府大学は学生生活を送るには最高の環境がそろっています。時間は無限にはありません。一度しかない人生、限られた時間を有効に活用し、大いに学び、大いに遊びましょう!!

谷川 友美 (タニガワ トモミ)



- ① 短期大学部 初等教育科
- ② 看護学
- ③ 大分医科大学大学院医学系研究科
- ④ 学生との出会いを大切に、共に学び成長していきたいと思っています。

大塚 守 (オオツカ マモル)



- ① 短期大学部 地域総合科学科
- ② 国語表現法
- ③ 広島大学文学部
- ④ よく学べ、よく遊べ。学ばなければ大学生ではありません。象牙の塔に閉じ籠もっているのは社会に貢献できる人たり得ません。本学はこのことを可能にする環境に恵まれていると感じます。大志を掲げ、若人よ。

鈴木 晶 (スズキ ショウ)



- ① 短期大学部 地域総合科学科
- ② 国際観光学 (日中観光) 温泉観光学 観光人類学、観光文化論
- ③ 日本大学大学院文化研究科博士後期課程修了 博士 (社会学)
- ④ 別府大学の印象：歴史ある大学で、地元にも密着しながら国際人を育てる教育に力を注いでいます。
学生に一言：国際温泉観光都市に立地するこの別府大学で“見る、食べる、買う (土産物など)”という、観光学の蘊奥 (うんのう) を共に温泉に浸かりながら究めましょう。そして夢があるなら、その夢に向かって突き進みましょう。夢は必ず実現できます!

神田 亮 (カンダ リョウ)



- ① 短期大学部 保育科
- ② 健康・スポーツ科学
- ③ 福岡大学大学院スポーツ健康科学研究科修士課程修了
- ④ 学生生活は勉強に、人間関係に、恋愛に悩む事が多いと思います。しかし、それを乗り越える事で人は成長します。大いに学んで、大いに悩んで、成長していきましょう。応援しています。

渡辺 一弘 (ワタナベ カズヒロ)



- ① 短期大学部 保育科
- ② 幼児教育学・教育社会学
- ③ 広島大学大学院教育学研究科 教育科学専攻 博士後期課程
- ④ 別府校はロケーションが素晴らしく、大分校はアットホームな感じがします。学生の皆さん、何事にもねばり強く、コツコツと取り組みましょう。そして無駄な経験もたくさんしましょう。

金 玉蘭 (キム オクラン)



- ① 大学事務局 学生課
- ③ 別府大学大学院 文学研究科 日本語・日本文学専攻 博士後期課程
- ④ 長年通っているうちにお母さんの懐のような存在です。今を楽しみ、今にベストを尽くしてください。

小野 目依 (オノ メイ)



- ① 附属図書館
- ② (東洋美術史)
- ③ 別府大学大学院博士前期課程、文学研究科文化財学専攻
- ④ 授業、レポート、論文など、資料調査を行う機会の多い大学生活。ぜひ図書館を有効利用し、知識と行動力の伴った学生生活を送ってください。

吉田 香 (ヨシダ カオリ)



- ① 教務課 食物栄養科学部出向実験助手
- ③ 別府大学大学院食物栄養科学研究科食物栄養学専攻
- ④ たくさんのものに興味をもっていろんなことにチャレンジしてください。

矢野 沙也加 (ヤノ サヤカ)



- ① 教務課 短期大学部初等教育科出向
- ③ 別府大学短期大学部初等教育科
- ④ 遊んだり勉強したり、一番自分のやりたい事が出来るのが大学だと思うので、キャンパスライフを楽しんで下さい。

羽田野 裕見 (ハダノ ヒロミ)



- ① 教務課 短期大学部食物栄養科出向実験助手
- ③ 別府大学食物栄養科学部
- ④ 学生の間に多くのことを学び、たくさん思い出をつくってください。

I 経営基盤の強化

1. 財政基盤の強化

経済情勢が極めて厳しい状況の中で、大学で最も重要な教育研究活動や社会貢献活動を持続的に発展・強化するための財源の確保を図るとともに、これまで以上に支出の構造を見直し、優先度を考慮した効率的な財政の運営を行うための施策を推進することが必要です。

このため、平成21年度においては、次の重点事項に配慮しつつ、Iの2、3及び4に記述する学生募集活動や広報活動の充実・強化及び寄附募集活動の推進を図るとともに、II及びIIIに記述する事業及び財務の概要に関する活動を推進しました。

- (1) 経常費補助金、競争的資金の獲得を踏まえた文部科学省等への対応
- (2) 外国人留学生に対する奨学制度の見直し
- (3) 資産運用による増収策の検討
- (4) 大学入試広報事務局及び進路情報課の強化に伴う学生の確保（学生募集の強化）
 - ・特に国際経営学部及び文学部の改組等に見直しに伴う入学定員の確保
- (5) 明豊中学・高等学校の改革推進室の設置に伴う経営等改善策
 - ・入学定員変更に伴う定員の確保
 - ・奨学生の人員等の見直し
- (6) 経費削減・業務改善を学園全体で積極的に推進
- (7) 嘱託職員の活用とアウトソーシング等による人件費の抑制

2. 学生募集活動の充実・強化

平成21年4月に別府大学と別府大学短期大学の学生募集に係る全学組織として「学生募集対策会議」を設置するとともに、それを効率的・効果的に運営するための「学生募集戦略会議」、「学生募集統括部」及び「学生募集担当者会議」を組織し、学校法人別府大学としての募集体制の一元化と募集組織の体系化を図りました。

3. 広報活動の充実・強化

平成21年度に立ち上げた学生募集戦略会議の基本方針等を踏まえ、ホームページのリニューアルを行うなど広報活動の充実・強化を図るとともに、広報に関する事務組織を見直し、平成22年4月に向けて入試広報事務局を設置することとするなど広報体制の充実・強化を図りました。

4. 寄附募集活動の推進

学校法人別府大学の寄附募集活動については、創立100周年記念事業に係る寄附募集活動として平成15年1月から展開してきましたが、この創立100周年記念事業を終了することとし、新たな寄附募集活動として、平成22年4月に向けて教育研究の充実及び施設拡充に必要な資金に充てるための恒常的な教育研究振興資金を創設し、寄附募集活動を推進することとしました。

II 事業の概要

1. 学園全体

学校法人別府大学は、平成20年（2008年）に創立100周年を迎えるにあたり、本学校法人が目指す将来像に向けて、平成18年度に別府大学メディア教育・研究センター、平成19年度に大分香りの博物館、平成20年度には国際経営学部講義棟及び短期大学部講義・実習棟を建設し、また、附属学校におきましても平成15年度に明豊キャンパスに体育館、平成21年度には明星小学校校舎を創立100周年記念事業として完成するとともに、日韓学生交流プロジェクト、世界遺産国際シンポジウム、匂いと香りの文化講座等の様々な創立100周年記念事業を展開し、予定しました成果を収めることができました。

2. 大学・短期大学部

(1) 大学改革の推進

- ① 平成21年度から文学部を改組し、国際言語・文化学科、史学・文化財学科及び人間関係学科の3学科体制とするとともに、収容定員を510名から430名に見直しました。また、食物バイオ学科を発酵食品学科に名称変更するとともに、収容定員を420名（編入学を含む。）から250名（編入学を含む。）に見直しました。
- ② また、近年の情報化やグローバル化など大学を取り巻く環境の変化を踏まえて、時代のニーズに即応した人材を養成し、併

せてこれらの変化に柔軟に対応できるように既存の学科を再編することに加えて、収容定員640名の国際経営学部国際経営学科を設置しました。

- ③ さらに、これらの改組と同時に平成21年度から全学的な教育課程・カリキュラムの再編を行い、少人数教育の徹底、4年間にわたる演習制を採用し、教養科目と専門科目の有機的な連携を図り、行き届いた初年次教育と豊かな学土力教育の充実・強化を図りました。
- ④ 外国人留学生に対する日本語教育をより体系的に実施するとともに、円滑かつ効率的に実施するため、専任教員を配置した日本語教育研究センターを設置しました。また、別科日本語課程との連携を図るため、両者を統括する「留学生教育機構」を組織整備しました。
- ⑤ 18歳人口の減少と高学歴化の進展への対応や入学者の資質の確保などを図るため、平成21年度に地域総合科学科及び保育科のそれぞれの入学定員を見直し、地域総合科学科を140名から100名に、保育科を80名から60名にそれぞれ変更しました。
- ⑥ 加えて、地域総合科学科では社会のニーズに応えるため、教育課程を再編し、専門科目を専門コア科目と専門選択科目に大別するとともに、専門選択科目を専門共通科目、総合ビジネス科目、ライフデザイン科目、トラベル&コミュニケーション科目及び通訳・翻訳科目の5つの科目に区分しました。さらに卒業要件として、専門コア科目6単位を必修化し、また、学生が興味や関心を持ちながら幅広い分野の教育研究に触れつつ、社会のニーズに幅広く応えていくために専門選択科目を44単位以上修得させることとしました。

(2) 教育研究活動の推進

1) 教育研究活動の充実・強化

- ① 外部資金の獲得

平成19年度に学内の教育研究分野の知を結集して立ち上げた「温泉学の構築」を研究テーマとした研究会や県内の大学等で構成する研究推進体制であります「地域連携研究コンソーシアム大分」の活動を核として、外部資金の獲得や県内の大学等との共同研究等を推進しました。
- ② 大学間の連携による教育・研究内容の充実

大学では、平成18年度に大分大学との間で協定を締結し、平成20年度から実施しています学部学生の単位互換制度について、学生への周知を図るなどその活用を推進しました。また、短期大学部では、大分大学との間に「別府大学短期大学部と大分大学との協力協定書」及び単位互換に関する覚書を平成21年3月25日に締結し、単位互換等の事業の推進を図りました。
- ③ 教育研究内容の充実

ア、ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を毎月実施するとともに、学生満足度調査及び学生による授業評価アンケートを実施して、教育内容・方法並びに教育条件等の改善を図りました。

イ、平成20年度に日本高等教育評価機構の評価項目に則って自己点検・評価を実施し、平成21年3月にその結果を『自己点検評価報告書』として取りまとめました。

ウ、インターネット上で紀要や研究報告等の原文閲覧ができる機関リポジトリ事業は、国立情報学研究所「次世代学術コンテンツ基盤協働構築事業」の委託事業として、昨年度に引き続き実施しました。これにより、本学では、紀要や研究報告の電子化とインターネット上での公開を進めることができました。

2) 高度情報化への対応とその充実・強化

- ① メディア教育・研究センターを核として、授業に使用するメディアを用いたコンテンツ・教材の開発等の取組を推進するとともに、マルチメディア教材の利用ができるよう一般の講義室のスクリーン、プロジェクター等の整備に努めました。また、サーバー、パソコン等の更新整備計画の策定に着手しました。
- ② 上記の①で開発したコンテンツや教材を使用して言語能力の育成と日韓相互理解の促進を目的として、大韓民国大邱科学大学と10月13日から1月28日までの間に15回の遠隔交流授業を実施しました。これには短期大学部初等教育科の学生48名、大邱科学大学の学生29名が参加しました。

3)国際交流の充実

- ① 中国、韓国及びニュージーランドの大学や高校との間において交流に関する協定を締結し、その充実に努めました。
- ② 韓国政府が学生を派遣する海外インターンシッププログラム協約を本学と姉妹校である大邱科学大学との間で締結していることを受けて、同大学から学生を受け入れて日本語の教育や本学メディア教育・研究センターなどで実地研修を実施しました。

4)学生のスポーツ・文化芸術活動の充実

スポーツや文化・芸術活動において優秀な成績を収めた学生に対して奨励賞を授与するなどスポーツ・文化・芸術活動の振興・発展に努めました。

(3)学生支援活動

① キャリア（資格・就職）支援の充実

文部科学省の「大学教育・学生支援推進事業」（学生支援プログラム）に申請して認められた「全学的・体系的な就職支援キャリア教育を目指す総合対策プラン」により、「学内合同企業説明会」、「就職支援相談会」、「キャリア教育講座」、「学士力・キャリア教育向上FD研修会」、「先進事例校調査」等を実施し、学生への就職活動の指導・支援体制の充実に努めました。

② 新入学生に対する入学前準備教育の実施

来年度の入学予定者を対象にして、入学後に授業等への取り組みが円滑に行えるようパソコンやピアノレクチャー講座を開講するとともに、授業科目の説明や個人面談などの入学前準備教育を実施しました。

③ 生活相談等の支援

学生寮（民間住宅の借上を含む。）の斡旋による宿舍の確保、健康相談、悩み相談等の体制整備に引き続き努めました。特に、平成21年度は新型インフルエンザの流行に伴う予防対策等に全学をあげて取り組みました。

(4)学生募集対策

オープンキャンパス、高等学校訪問、高大連携等の学生募集に係る活動の在り方等について再検討するとともに、就職対策、中途退学者問題への対策等と結びつけた検討を実施し、それらを踏まえて学生募集活動を展開しました。

(5)地域との連携

防犯に一役を担うため、別府警察署、別府市防犯協会などの指導・助言や大学近隣の自治会との連携の下、学生ボランティアの参加を得た「別府大学防犯パトロール隊」を組織するとともに、近隣の定期的なパトロールを実施しました。

3. 附属学校

(1)中学・高等学校

① 中高一貫教育の再構築

併設型中学校及び併設型高等学校として新たな教育課程を編成し、中学校における「先取り教育」を実施し、中学3年次には高校1年の課程を履修するとともに、高校3年次には特別学習の時間を取り入れることを検討し、実施することとしました。

② 特色ある教育の展開

中学においては、「チャレンジクラス」や「特別編成クラス」を編成し、生徒の個性・目標に応じた特色ある教育を展開しました。また、中学、高校及び小学校が連携し、外国人及び海外の学校との交流を深めるとともに、一貫した英語教育システムの構築に向けた検討を行いました。

③ 進路指導対策

別府大学の教授や企業家などの社会人を講師に進路講演会・キャリアガイダンスを開催するとともに、弁論大会や社会見学などの教育活動により自己の生き方や在り方を高める進路学習などを推進しました。

④ 部活動・学校行事の充実

高等学校野球部が春の九州地区高等学校野球大会においてベスト8になるとともに、夏の全国高等学校野球選手権大会(甲子園)においてもベスト8の成績を残すなど優秀な成績を収めました。また、男子卓球部が全国高等学校総合体育大会において団体でベスト8に輝くなど優秀な成績を収めました。さらにソフトテニス部が全九州高等学校体育大会で個人ベスト8の成績を収め、女子柔道部も全九州高等学校新人体育大会で団体戦、個人戦とも準優勝するなど目覚ましい活躍をしました。

(2)小学校

第11回ショパン国際ピアノコンクールinASIA九州大会において、5・6年生の部で金賞を、1・2年生の部で銅賞を受賞するとともに、全国大会に出場するなど優秀な成績を収めました。また、作文コンクールにおいても金賞を受賞するなど芸術文化活動において目覚ましい活躍をしました。

(3)幼稚園

附属幼稚園においては、平成21年11月に開催された九州保育研究会において全クラスの公開保育を実施しました。また、地域との連携事業活動として、附属幼稚園及び明星幼稚園を利用して中学生のキャリア・スタート・ウィーク(職場体験)を実施しました。

(4)看護専門学校

看護基礎教育の教育課程を改正し、平成22年度からそれに沿ったより効果的な教育を実現するための新カリキュラムを策定しました。また、高等学校看護科の5年一貫校への変更などにより受験者が漸減したため、平成22年度から看護専門課程(全日制)の入学定員を80名から40名に変更することとしました。

(5)保育園

新保育所保育指針に基づき改訂した保育課程を更に見直すことを検討しました。また、保育園を地域社会の資源として、見学、実習等の積極的な受入れを行うとともに、各種の地域向けの諸活動を通じて、地域の子育て支援の役割を果たすように努めました。

4. 地域貢献・文化推進事業

(1)大分香りの博物館

創立100周年記念事業の一環として、前年度に引き続き「匂いと香りの文化講座」を実施しました。また、平成21年11月に別府市で開催された第18回全国ハーブサミットにおいて、「香り癒しのシンポジウム」など香りと癒しをテーマにした地域発の香り文化振興事業を実施しました。

(2)ゆふの丘プラザ

平成21年度においては、地域との連携や大学の講師の活用による研修プログラムの充実に努めるとともに、特に新入生やリーダー研修会をはじめ、県高等学校剣道、県女子柔道などの合宿を充実させるなど研修施設利用の強化を図りました。

5. 学生・生徒・児童・園児の在籍者数

学校法人全体の学生・生徒・児童・園児数は、次の表のとおり4,823人で前年度より330人減少しました。

平成21年5月1日現在(単位:人)

学 校	学 科 等	H 2 1 年 度
大学院・学部	大学院	91
	文学部	1,632
	食物栄養科学部	389
	国際経営学部	82
	別科日本語課程	64
	小 計	2,258
短期大学部	食物栄養科	96
	初等教育科	275
	地域総合科学科	280
	保育科	98
	専攻科	49
	小 計	798
附属看護専門学校	全日・通信制課程	305
明豊高等学校	全日・通信制課程	567
明豊中学校		128
明星小学校		305
附属幼稚園		139
明星幼稚園		191
境川保育園		65
春木保育園		67
	合 計	4,823

III. 財務の概要

本学校法人では、少子化が進む厳しい状況を踏まえ、魅力的な大学を目指して近年、学部・大学院及び学科の新設を進めました。平成21年度においては、国際経営学部国際経営学科を新設したほか、文学部の改組等を行い、教育ニーズに対した一層の充実を図るとともに、施設整備面においては、創立100周年記念事業の一環として、明星小学校の校舎を建設し、教育研究環境の一層の充実を図りました。

平成21年度の収入については、帰属収入の柱である学生を確保し、学生納付金収入の増加を図ることを最重点課題として捉え、県内及び九州地区を中心とした募集活動を強化するため、各県毎の担当教職員を増やすとともに、出前授業を実施するなど募集活動の充実・強化を図りました。また、学校法人の経営基盤を強化し、充実した学校運営を実施するためには外部資金を確保することが重要となっています。特に教育研究基盤をより強化するための科学研究費補助金については、採択件数14件、補助金額31百万円と対前年度よりも増加しておりますが、今後、申請件数の増加策など一層の努力を必要としています。寄附金については、創立100周年記念事業として平成15年1月から募金活動を行い、平成21年度末現在の実績としては約135百万円の募金金額となりました。

支出については、中期財務計画及び事業計画等をもとに収支バランスの取れた財務内容を維持するものとし、予算の計画的・効率的な執行を図るとともに、経費削減を展開するため、検討委員会を設置しました。平成21年度においては、特に光熱水費の削減に取り組み、各キャンパス毎の削減目標額を定めるとともに、教室及び研究室等における冷暖房及び照明等へのこまめな対応を教職員に徹底するなど改善策を推進し、目標額よりも更に約2百万円の削減を行いました。

(1) 貸借対照表

科 目	本年度末	前年度末	増 減
資産の部			
固定資産	23,936	23,917	19
有形固定資産	15,641	15,732	△91
その他の固定資産	8,295	8,185	110
流動資産	4,103	4,072	31
資産の部合計	28,039	27,989	50
負債の部			
固定負債	1,122	1,146	△24
流動負債	1,793	1,732	61
負債の部合計	2,915	2,878	37
基本金の部			
基本金の部合計	25,025	24,836	189
消費収支差額の部			
消費収支差額の部合計	99	275	△176
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	28,039	27,989	50

(2) 資金収支計算書

科 目	予 算	決 算	増 減
収入の部			
学生生徒等納付金収入	3,191	3,205	△14
手数料収入	57	57	0
寄附金収入	21	25	△4
補助金収入	952	914	38
資産運用収入	89	85	4
資産売却収入	0	0	0
事業収入	399	407	△8
雑収入	165	195	△30
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,556	1,520	36
その他収入	605	1,161	△556
資金収入調整勘定	△1,682	△1,697	15
当年度収入合計	5,353	5,872	△519
前年度繰越支払資金	3,872	3,872	0
収入の部合計	9,225	9,744	△519
支出の部			
人件費支出	3,127	3,117	10
教育研究費支出	887	862	25
管理経費支出	346	323	23
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	401	401	0
設備関係支出	79	85	△6
資産運用支出	498	1,088	△590
その他の支出	229	241	△12
予備費	10	0	10
資金支出調整勘定	△231	△257	26
当年度支出合計	5,346	5,860	△514
次年度繰越支払資金	3,879	3,884	△5
支出の部合計	9,225	9,744	△519

(3) 消費収支計算書

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	増 減
消費収入の部			
学生生徒等納付金	3,191	3,205	△14
手数料	57	57	0
寄附金	31	48	△17
補助金	952	914	38
資産運用収入	89	85	4
事業収入	399	407	△8
雑収入	165	195	△30
帰属収入合計	4,884	4,911	△27
基本金組入額合計	△182	△189	7
消費収入の部合計	4,702	4,722	△20
消費支出の部			
人件費	3,092	3,093	△1
教育研究費	1,429	1,404	25
管理経費	404	383	21
借入金等利息	0	0	0
資産処分差額	1	1	0
徴収不能額	11	17	△6
予備費	10	0	10
消費支出の部合計	4,947	4,898	49
当年度消費収入超過額	△245	△176	△69
前年度繰越消費収入超過額	275	275	0
翌年度繰越消費収入超過額	30	99	△69

(4) 財産目録

平成22年3月31日現在

I 資産総額	28,040
内 基本財産	15,874
運用財産	12,166
収益事業用財産	0
II 負債総額	2,915
III 正味財産	25,125

(単位：百万円)

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	
土地	187,490 m ² 3,789
建物	87,003 m ² 8,477
図書	340,756 冊 1,285
教具・校具・備品	15,661 点 1,159
その他	1,164
小計	15,874
2 運用財産	
現金預金	3,884
積立金	7,811
土地	3,030 m ² 206
建物	673 m ² 43
その他	222
小計	12,166
3 収益事業用財産	0
資産総額	28,040
負債額	
1 固定負債	
長期借入金	0
退職給与引当金	1,122
2 流動負債	
短期借入金	0
前受金	1,520
その他	273
負債総額	2,915
正味財産(資産総額-負債総額)	25,125

表紙の挿絵



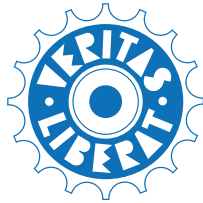
「静物」F120 油彩
青木智華子 (絵画表現コース研究生)

作者コメント

静かに並ぶ物から聞こえる声や呼吸。そして、物としてのみ存在する彼らの質。その内包する二面性を描きたいと思いました。

編集後記

今年度から『Be-News』をA4版に拡大しました。広い紙面で様々な特集が組めるようになるとともに、学園の情報をより多く発信することができるようになりました。新しい『Be-News』を通して、これから学園のビジョンやカレントな取り組みをどしどし発信して参ります。(友永)



Be-News 2010.Aut (別府大学通信 No.101)

編集 別府大学メディア教育・研究センター 広報部

発行日 平成 22 年 10 月 20 日

印刷 佐伯印刷株式会社
